

■■し尿及び浄化槽汚泥要処理量の算出方法■■

【基本算定式】

■ 行政人口 (推計値)	=	下水接続人口 (推計値)	+	浄化槽人口 (理論値 X)	+	し尿人口 (推計値)
■ 各種処理量	=	各種人口	×	原単位	×	365日
※ 原単位	=	1人1日あたりのし尿(浄化槽汚泥含む)排出量				

【要処理量算定】

- 1 浄化槽汚泥要処理量
業者別浄化槽人口(理論値 X)に平成21年度実績による業者別の原単位(ℓ/人/年)を掛けて各年度の業者別浄化槽汚泥要処理量を算出する。
- 2 し尿要処理量
浄化槽汚泥要処理量と同じ方法で算出する。
- 3 許可業者全体処理量
業者別の処理量を全て累計して算出する。

【推計人口算出方法】

- 1 業者別許可地域行政人口
倉敷市町丁別行政人口の見通しを一般廃棄物処理基本計画の地区別人口時系列分析結果を用いて算出し、し尿等収集業者ごとの許可区域で合計し、平成27年度までの業者別許可地域行政人口(推計値)を算出する。
- 2 業者別下水接続人口
下水道部から提供を受けた最新の平成27年度までの年度別の町丁別下水道接続人口から、業者別下水接続人口(推計値)を算出する。
- 3 業者別し尿人口
平成21年度の業者別し尿人口(実績値)に、一般廃棄物処理基本計画で行った時系列分析結果の減少率を掛けて、平成27年度までの業者別し尿人口(推計値)を算出する。
- 4 業者別浄化槽人口
年度別に理論値で算出する。
業者別浄化槽人口=業者別許可地域行政人口-業者別下水道接続人口-業者別し尿人口
- 5 農業集落排水人口
浄化槽汚泥として各許可業者が収集しているため、業者別浄化槽人口に含むものとする。
- 6 自家処理人口
自家処理人口は、平成20年時点で市内に678人と推計される。その実態が把握されていないことや、統計的に誤差の範囲内と考えられるため、考慮しないこととする。